



# セリオ便り

## 十二月号

— 2021 —



世界遺産

トロイツェ・セルギエフ大修道院

モスクワ郊外

「先略・厳しかった令和三年も年の瀬を迎えようかお遊がよろか?!

少し落ち着いて振り返る時間か増えてこの数年行っていない

海外旅行を思い出し「ソマリア」よく質問されて来たのがもう

一度行ってみようか?とどうも?と純粋に心に残り

えんれられたい旅の「ソマリア」で「ソマリア」はソマリア正教の

「黄金の環」と云われてソマリア正教の「黄金の環」と云われて

聖地として栄えまうに、モスクワの北東部70km トロイツェセルギエフ

(聖セルギー三任一体)大修道院を中心とした街です。若き日の聖セルギーは

「クワール(モスクワ)とのクリコヴォの戦い(1380年)で精神的指導者としてロシア

を勝利に導き、教々の奇跡によりロシアの守護聖人として今日まで宗め

られています。トロイツェセルギエフ大修道院は聖セルギーの墓所の上に建てられ彼の棺が教会内

に安置されています。私が行った時に丁度ミサが始まりました。聖歌の荘厳に智ま

わたり数千人も人々のロシア全土から訪れてました。其屋主裁のソマリアとソマリア

「ソマリア」にはソマリアのソマリアもありません。革命の嵐の中で残ったロシア正教は

ロシア人の精神的支柱としてソマリアの破壊出来た事で一九九三年大修道院

は世界遺産となりロシアの原風景としての輝きを放っています。現状も

300人の修道僧の生活して神学校もあり若く青年修道僧の村りも

凍く事か出来たか?に。それか世界は宗教による破壊や争いの終る事

なく統一する事か?ソマリアの利害を越えて果ては人間の欲望から自然心

に回復する謙虚な心を取り戻せるよう村りか?に。そうなる日を

信じていると思っております。「黄金の環」とは首飾りの因を描くようにソマリアの

古く都が点在する所から呼ばれるエリアで今も中世の面影を残す街並

や天下無敵家アンドレイ・ルブリョフ公園を描いて知られてきます。

観光者か少ない厳寒のロシアの旅だからこゝろ忘れられたい心洗われ旅に

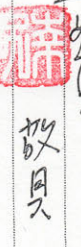
ひきまうた。冬ふりに感謝の余り四角で来たアパペラの聖歌のアルバムを聞き

ながらマツも凍るロシアにタイムスリップしてました。オスマン朝厳寒冬心

儘まる年末年始もお遊下さる事か?よろしく感謝を込めて。



令和三年十二月錦走 松本幸一子 抄



故日ス